

地域医療連携システム 「SAVEネット」

西部医療センター（愛称：じょうほく）

「SAVEネット」の機能紹介

1 診療情報の共有

- 西部医療センターのカルテを診察室で参照できます。
経過記録、オーダー、検査結果、画像レポート、病歴、退院サマリなど

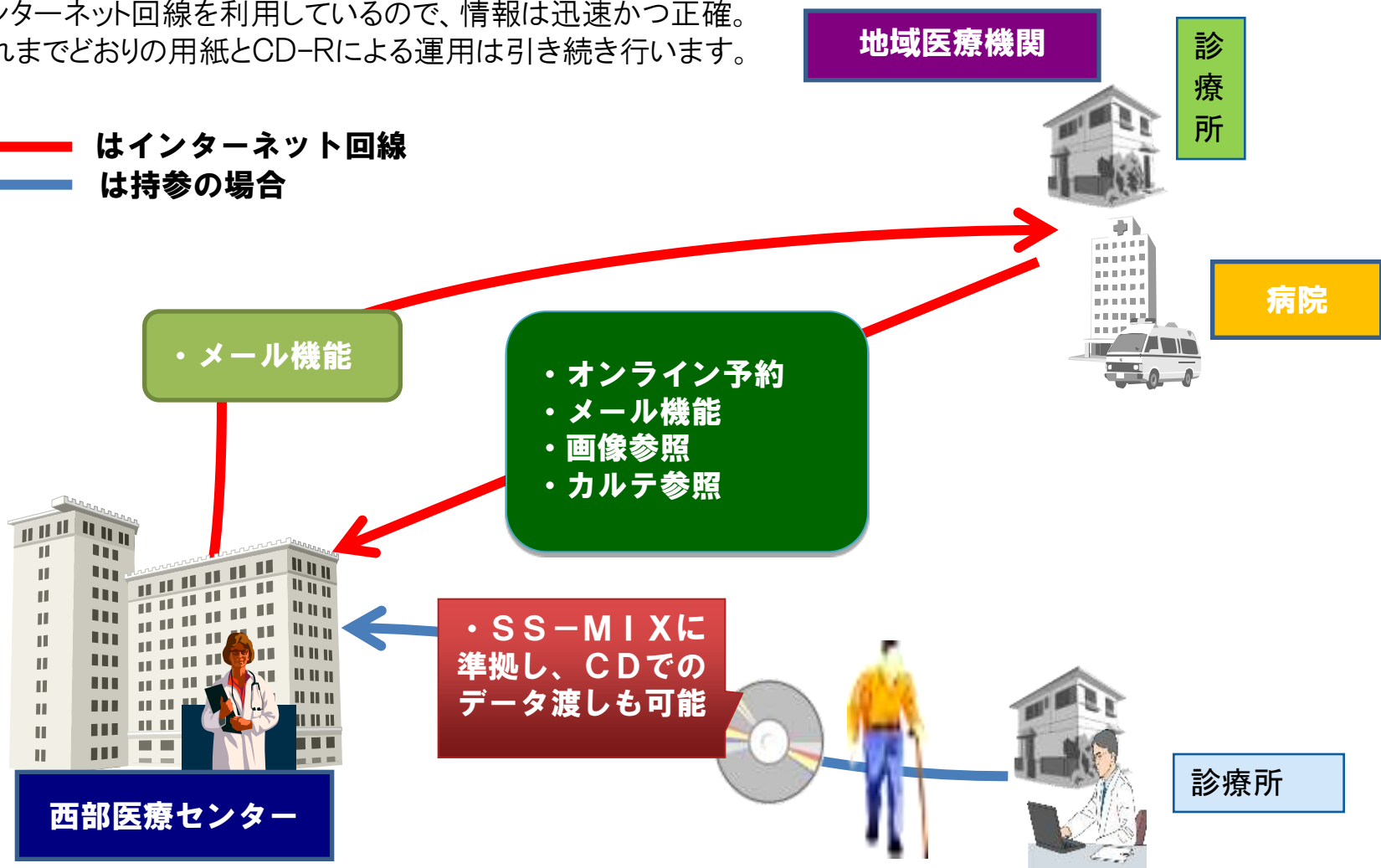
2 診療の連携強化

- 外来の診察枠とCT・MRI検査の予約がとれます。
- 西部医療センターの医師とメールができます。

SAVEネットサービス

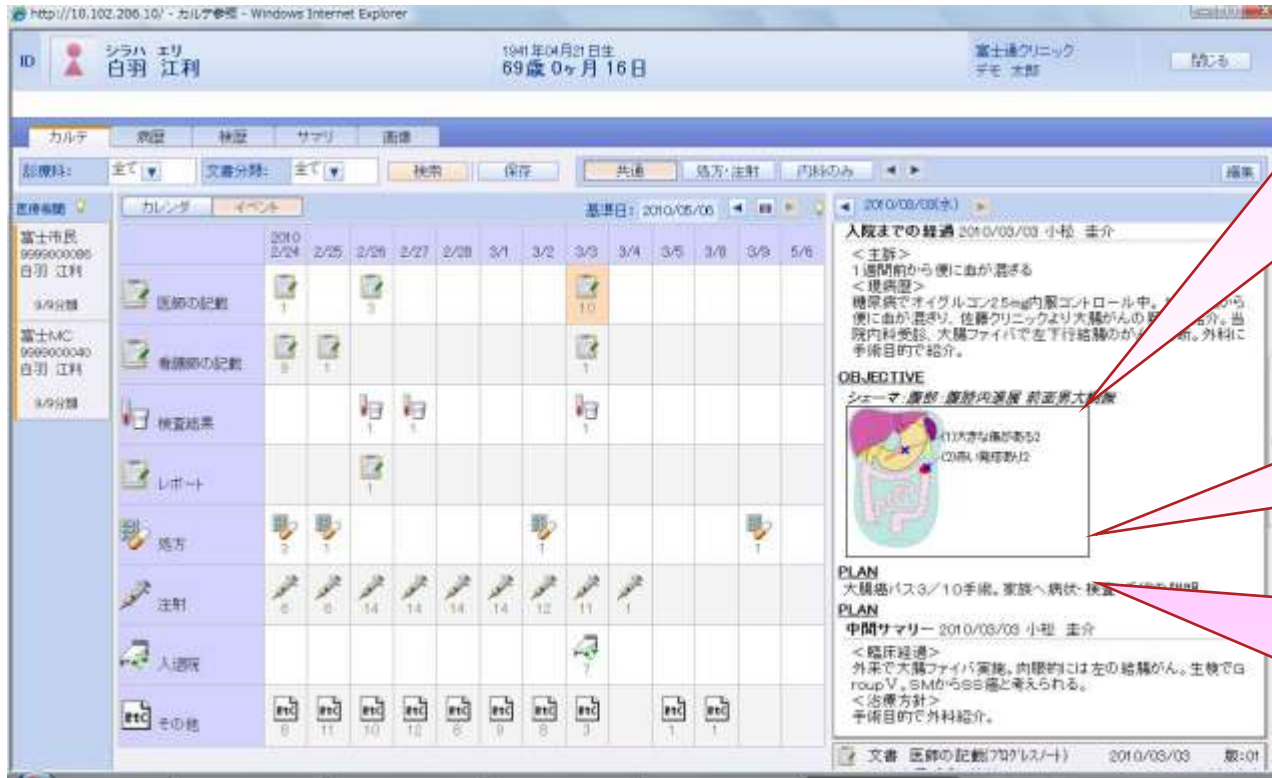
インターネット回線を利用しているので、情報は迅速かつ正確。
これまでどおりの用紙とCD-Rによる運用は引き続き行います。

— はインターネット回線
— は持参の場合



わかりやすい画面で診療情報を共有

クリック一つで必要な情報が表示できます。時系列・項目別の表示も可能です。



薬歴

経過表



検歴



**DICOM画像
レポート**



経過記録／サマリ

機能 その1

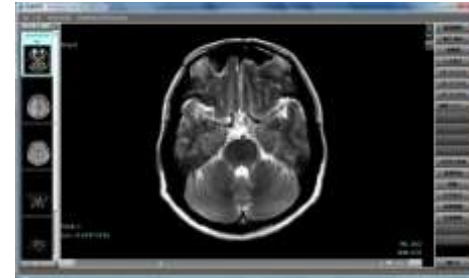
カルテ参照機能(例)

経過記録



画像

レポート



検査結果



退院サマリ

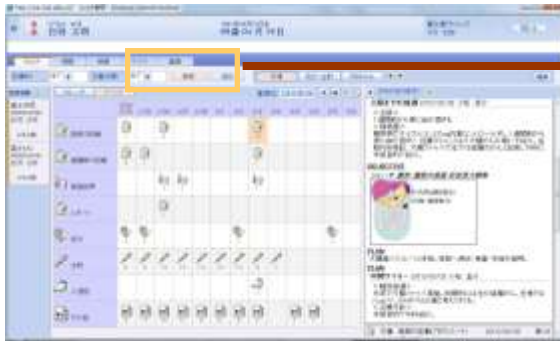


機能 その2

レポート参照(例)

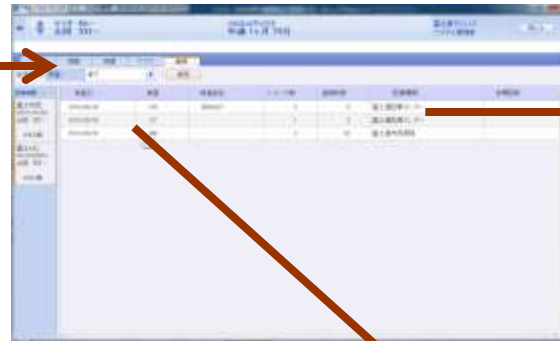
カルテ参照

カルテ参照画面から画像検査一覧を呼び出すことができます。



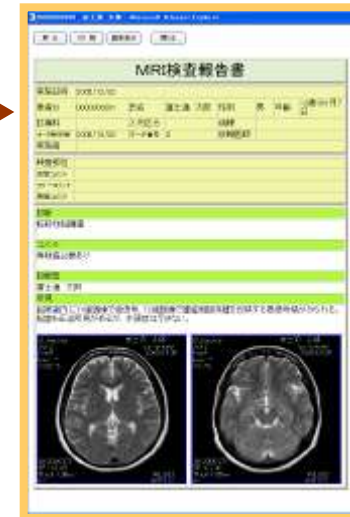
画像検査一覧

画像一覧のレポートが「確定」の画像は該当のレポートを参照することができます。



画像参照

表示したレポートからPACS画像を参照することが可能です。

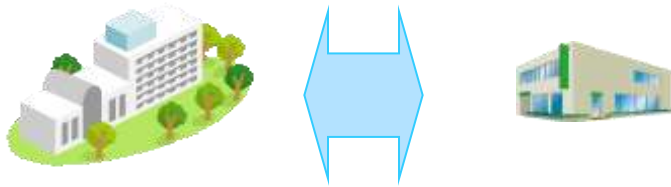


画像参照専用ビュー

機能 その3

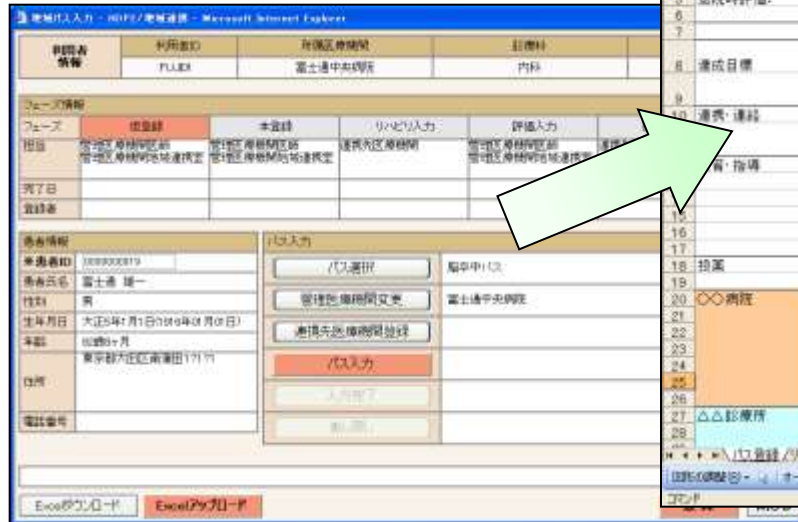
■ オンライン予約

西部医療センターの予約状況を確認しながら、外来診察とCT・MRI検査の予約ができます。



■ 地域連携パス（将来対応）

地域連携パスを構築してまいります。



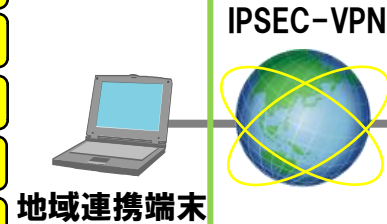
登録医様にご準備いただく内容

登録医様では、インターネットに接続出来るパソコンが1台あればシステムをご利用いただけます。
ただし、ご利用には以下の要件が必要になります。

登録医様

- 要件1:インターネット環境(プロバイダ契約含む)
- 要件2:SAVEネット接続端末(Windows,MacOS)
- 要件3:ウィルス対策ソフトの導入
- 要件4:Winnyなどのファイル共有ソフトを削除
- 要件5:配布された証明書をインストール
- 要件6:OS/VPNソフトを用いてVPN接続

※要件5、6の設定等は専門のスタッフにて対応致します



西部医療センター

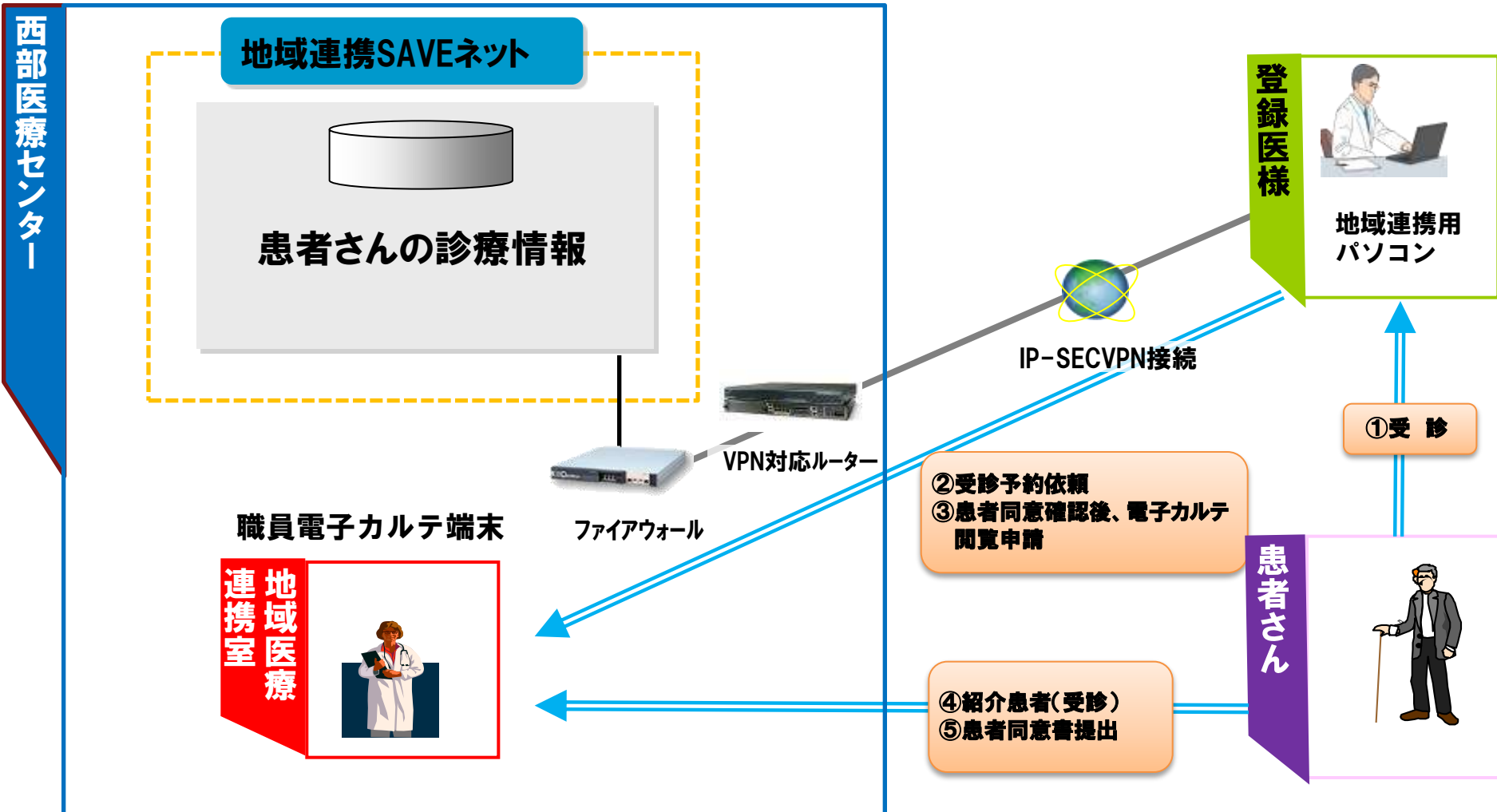


■SAVEネット接続端末の推奨動作要件

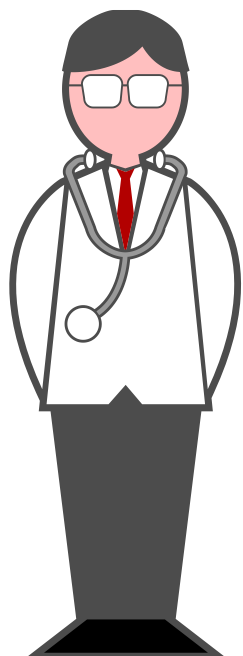
動作PC	動作保証OS	動作保証ブラウザ	推奨CPU	推奨メモリ
Windows	Windows 7/8.1/10	Internet Explorer 11	ノート: 2.4GHz以上 デスクトップ: 2.93GHz以上	2GB以上
Mac	Mac OS v10.7/10.8/10.9/10.10/10.12	Safari 6/7/8/10	ノート: 2.4GHz以上 デスクトップ: 2.93GHz以上	2GB以上

登録医様での接続について

ネットワークを利用した診療情報の共有を行う基盤として、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に準拠したセキュリティ対策を図っていますので安心です。



登録医様のメリット(1)



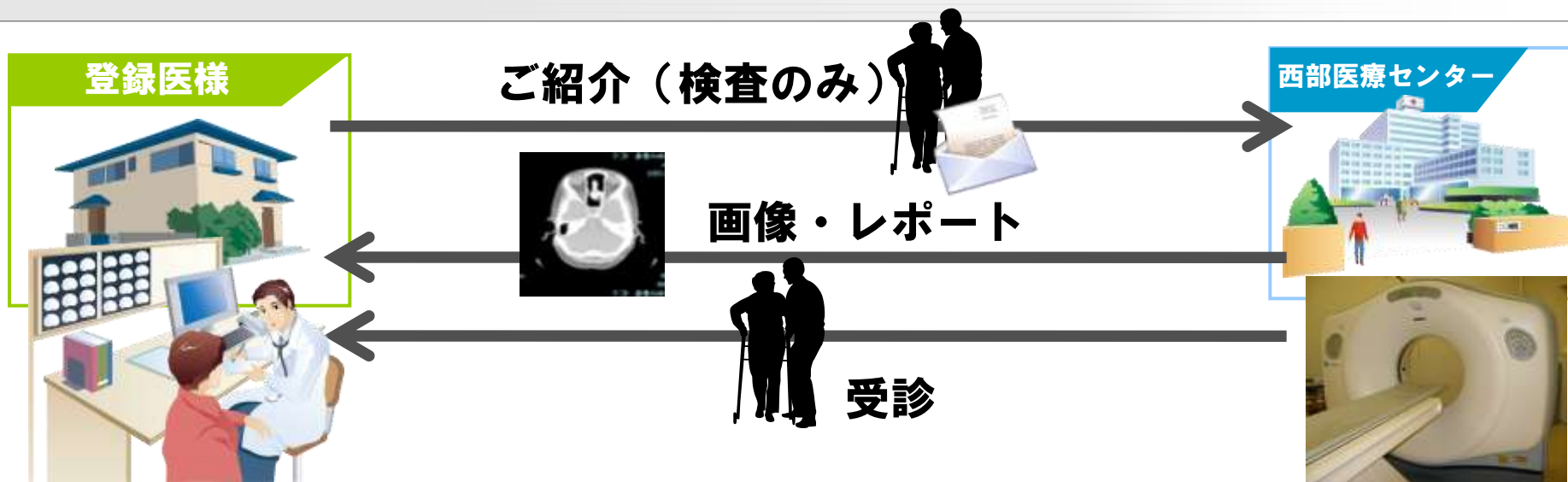
気になる症例の患者さんについて、端末画面を参照し、診療内容等を確認することが出来ます。

紹介先の状況等が把握でき、どのような治療が行われているのかがわかるので安心です。

患者さんが戻ってこられたときに、患者さんやそのご家族に治療経過や治療方針をカルテを一緒に見ながら説明することができます。

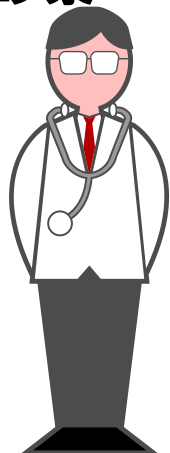
かかりつけ医師

登録医様のメリット(2)



診察

検査実施



西部医療センターにある医療機器が、自院の検査機器のように使えます。

かかりつけ医師